

<農業生産法人，集落営農組織の育成に取り組む事例>

○皆で生かす我らの農地，明るく楽しく共同作業

1. 集落協定の概要

市町・協定名	広島県東広島市河内町・宇山 <small>ひがしひろしましこうちちょう うやま</small>			
協定面積 80.8ha	田 (96%) 水稲・そば	畑 (4%) 野菜	草地	採草放牧地
交付金額 1,518万円	個人配分			48%
	共同取組活動 (53%)	役員報酬等 (役員会等出席手当・作業日当含む) 鳥獣被害防止対策費 特産品・交流活動助成費及び研修会費 事務費		11% 35% 5% 1%
協定参加者	農業者 83人，宇山東営農組合 (構成員97人)，その他組織 2 (農) うやま			開始：平成13年度

2. 取組に至る経緯

2期対策において継続的な農地の維持管理が図られてきたが，依然として高齢化・後継者不足は進んでおり農地の荒廃が懸念される状況は続いている。このような状況を踏まえ3期対策では集落営農を法人化することで2期対策同様継続的な農地の維持管理を図るとともに，地域の特性を生かした効率的な農業の実践を目指して，協定の締結に至った。

3. 取組の内容

- 1) 集落営農の法人化については，協定農用地の約25ha (33%)の集積を目標とし，平成22年11月18日に『農事組合法人うやま』が設立された。水稲・ソバ・麦の栽培を行う計画である。
- 2) イノシシ・シカによる被害防止対策として，集落全域に防護柵約34kmを設置し，成果をあげている。
- 3) 農道・水路及び農用地周辺林地等の維持管理を積極的に行っており，農用地の維持管理にも繋がっている。



【協定農用地 (急傾斜地)】



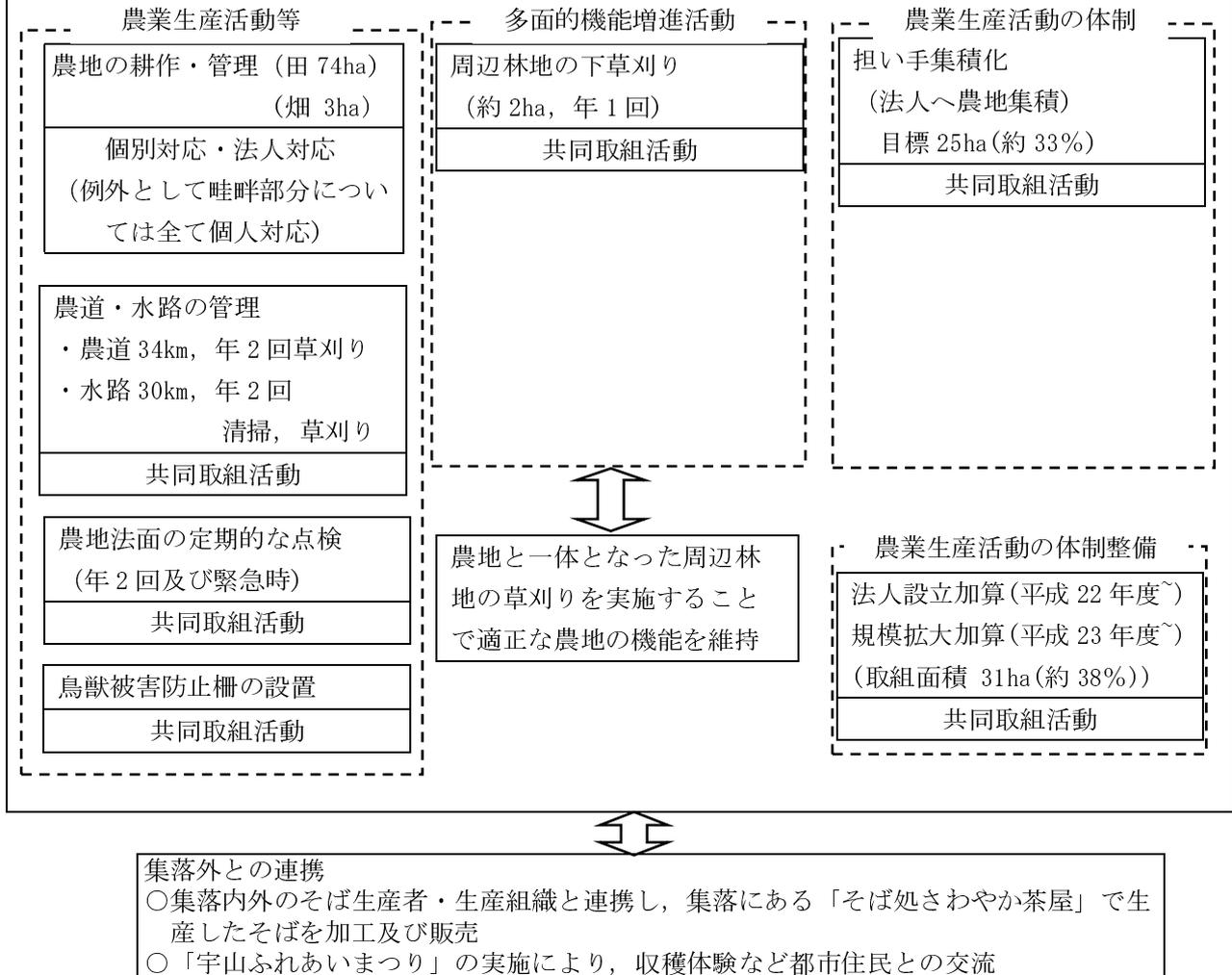
【農事組合法人うやま設立総会】

【集落の将来像】

○特定農業法人を中心とした農地の集積を実施し、効率的な農業生産活動等の体制整備。

【将来像を実現するための活動目標】

○新規設立の特定農業法人と共に既存の宇山東営農組合が協力し、代々受け継いできた農地の荒廃を防ぎ、農業生産活動を維持していく。



集落外との連携

- 集落内外のそば生産者・生産組織と連携し、集落にある「そば処さわやか茶屋」で生産したそばを加工及び販売
- 「宇山ふれあいまつり」の実施により、収穫体験など都市住民との交流

4. 今後の課題等

当集落は地形が急峻であるため農地の維持管理（特に畦畔部分）に多くの負担がかかっている。

【第 2 期対策の主な成果】

共同機械購入実績 H18年度 水稲コンバイン, H21年度 トラクター
 共同機械利用面積 汎用コンバイン(そば) 27.1ha, 水稲コンバイン 7.9ha, 田植機 3.4ha
 ブームスプレーヤー 5.4ha, トラクター 29.0ha (H21年度実績)